

13

15 LEON RECOMMENDS

写真/隈田一郎
文/渡辺 豪(本誌)

今 や、チャリティやボランティアって当たり前の時代となりましたよね。そんな当然の行為だからこそ、声高々に吹聴するのってカッコ悪い。当たり前であるからこそ、日常のひとコマにてスマートかつさり気なく行う。それが、今の格好良い男の条件であるとLEONは考えるのです。例えば、女性とのデートで立ち寄ったレストランにて。いつものようにサーブされるグラス一杯の水。その傍には一枚のカードが。コチラ、とあるチャリティへの協賛の証でして。そのお店で水を飲み、カードの上に100円を置けば、衛生的な水を手にすることができない子供たちを助ける活動のための寄付となるわけです。健康的な生活を送るだけの水を確保できないばかりに苦しんでいる人々がいる。それをなんとかしようと、この「TAP TOKYO」プロジェクトが立ち上がったんですね。何か特別なことをするのではなく、いつものようにレストランで、お冷やを飲む。それだけでできる、この上なく自然なチャリティということ。前述した食事の女性も件のカードに興味をもてば“それはね…”と優しく説明してあげましょう。もし、彼女が氣にとめなくとも、それはそれでよし。自然に社会貢献ができる貴兄のスマートさが、誰かの助けになっているのは間違いないわけですからね♥



あの有名レストランやカフェが100店以上も協賛
こちらが、テーブルに置かれるカード。気持ちがあればさらに寄付するって方法もあり。ニューヨークのクリエイターとユニセフが立ち上げたプロジェクトが世界に広がっているんです。実施期間は3月20日～22日(世界水の日)までの3日間。参加レストランの詳細は公式サイト <http://www.taproject.jp/>にて。ほかのご質問は☎0120-88-1052まで。(日本ユニセフ協会)

「TAP TOKYO」のチャリティ いつものお冷やが意味ある一杯に



これ、まさに“Noblesse Oblige”のひとつ

少々、おせっかいな解説になりますが
“社会的地位ある人の責任”を意味するこの言葉、
昨年、イギリスのヘンリー王子がアフガンの最前線に
従軍したことで有名になりましたよね。世界には
不衛生な水しか手に入らない人が8億6000万人
さらに毎日4000人もの幼い子供が、不衛生な水のために
命を失っています。このプロジェクトで集められた
資金はアフリカのマダガスカルにおける井戸建設などに
使用されます。100円の寄付で、一人の子供が
40日間にわたり衛生的な水を手に入れることが可能。